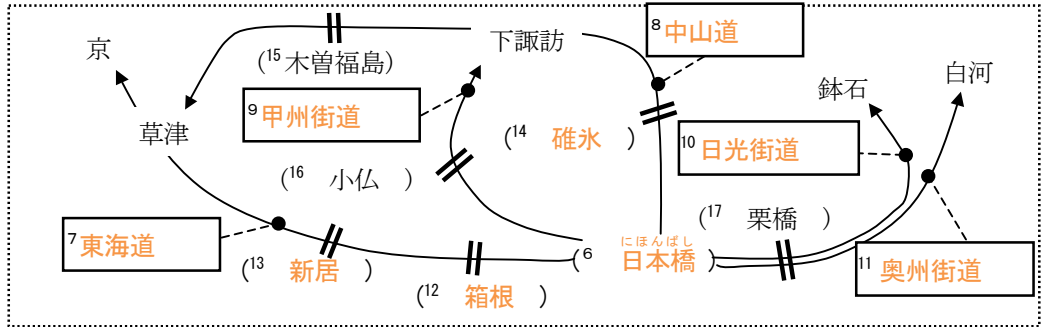


陸上交通の発達

- 街道 1 五街道 下図 …幕府直轄 2 道中奉行 (大目付・勘定奉行から各1名が兼任)の支配
 3 脇街道 (脇往還) … 4 北国街道・中国街道(山陽道)・山陰道・伊勢街道・佐渡路など
 5 一里塚の設置…1里(4km)間隔



- 18 関所 (||) 19 政治・軍事的…手形が必要 江戸の防衛・大名の妻子の監視 “^{いりてっぽう}入鉄砲に^{でおんな}出女”
 ※架橋しない川(軍事上の理由) <例> 21 大井川、安倍川 …川越人足 天竜川…渡船

「箱根八里は馬でも越すが、越すに越されぬ大井川」

- 22 宿場 (₂₃宿駅) …2～3里毎に宿泊施設 一定数の人足・馬(伝馬)を配置
 24 本陣 ・ 25 脇本陣…大名や役人 26 旅籠 ・ 27 木賃宿 …一般民衆

- 28 問屋場 …人馬継立など事務を担当

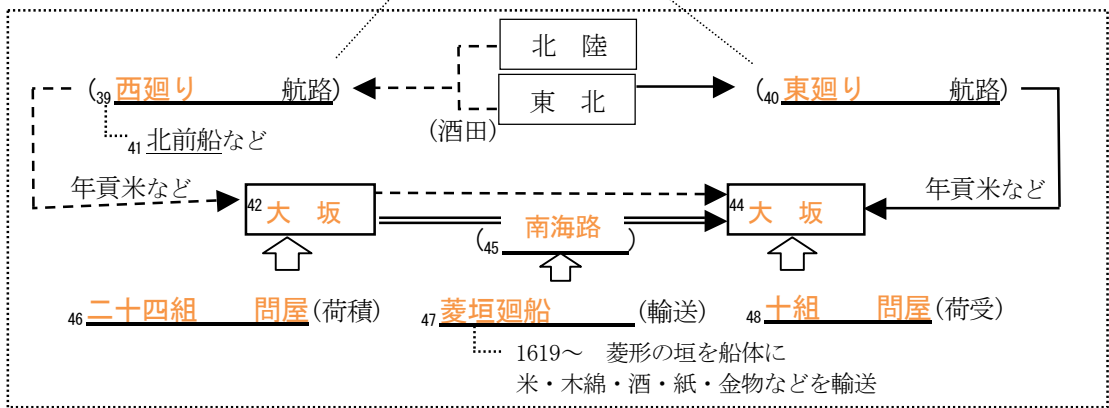
不足分は周辺の^{てんまやく}29 伝馬役(常時)や^{すけごやく}30 助郷役(臨時追加)で補う

- 飛脚制度 31 町飛脚(民営)・ 32 大名飛脚(大名)・ 33 継飛脚(幕府の公用)
 … 34 飛脚問屋が運営 「三度飛脚」(月3回 東海道を6日で 定六・定飛脚とも)

水上交通 ※物資の大量輸送に便利 → 廻船 (大型船) の発達

河川 36 角倉了以 (京の豪商)、幕命で 35 富士川・36 高瀬川・37 保津川などに水路
他にも、淀川・利根川(流路を変更)、最上川などは重要

海上 幕府の命令で、材木商 38 河村瑞軒(賢) が開拓(17世紀後半)



1730. 十組問屋から 49 酒問屋 が独立 → 50 樽廻船 (船足が早い) が輸送

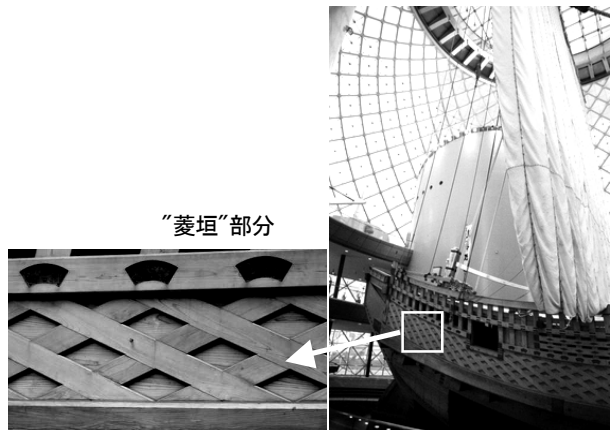
※徐々に菱垣廻船を圧倒

☆ 51 三都 の発達

- 52 江戸…100万人 将軍の城下町 明暦の大火で市街再編成 後期に繁栄 「八百八町」
- 53 大坂… 35万人 商業都市 (54 天下の台所) 諸藩の蔵屋敷 中期に繁栄 「八百八橋」
- 55 京都… 40万人 皇居の所在地 美術・工芸文化 「八百八寺」

※ 56 上方 …大坂・京都を含む近畿地方を指す言い方 ☆江戸へ送られる商品は「くだり物」

このほか、名古屋(尾張徳川家)、金沢(加賀前田家)など城下町が発展



「なにわの海の時空館」の実物大

【正誤問題に挑戦】〈センター1996追試験、1997日本試験、より〉

- ①17世紀の中ごろ、江戸と京都・大坂との間に民間の文書・荷物を運ぶ **継飛脚** が公認され、次第に全国各地に普及した。
- ②東廻り航路によって、東北地方の米を、大坂を経ずに、江戸に運ぶことができるようになった。○